

## コラム 27 : 【コロナが後押し】

就職の相談をしてきた20代後半の相談者に関する、次のようなエピソードがあります。

相談者は、両親から「正社員でなくてはダメ」と言われ続けていたこともあり、家族関係は悪く、自分のことを考える余裕もなく、「働くことはすごく大変なこと」と思っていたとのことでした。相談者は、決心をして親と交渉し、一人暮らしを始めました。

初めの頃は、生活費の援助をしてもらっていたのですが、資金援助にも限界があります。一人暮らしを始めて、自分のことを考える余裕ができた頃、お金が足りなくなりました。そこで相談者はふと「冷蔵庫の中のものがなくなったら、買い足すよね。働くってそういうことなのかも。」と思ったそうです。

相談者は一人暮らしを始めてから、親からのプレッシャーがなくなりました。一生懸命仕事を探し始めたのですが、コロナ禍で募集件数が少なくなっていることに気づきました。これまで、働く条件は「正社員」「バイトでも時間帯は昼」「時間給は最低でも～円」など、色々譲れなかったのですが、「とりあえず働く」ということに焦点をあて始めてから、仕事探しが楽になったとのことでした。

相談者はまず、バイトから始めることにしました。「仕事はすごく大変なこと」「正社員にならなくては。バイトなんかダメ。」と考えすぎていた相談者の背中を現在の社会情勢が上手く押してくれたようです。